

Infinity

～ 学年集会まとめ ～

【自己紹介＆主任挨拶】

新クラスはどうですか？全体的には落ち着いて過ごせていたと思います。皆さんには 2 年間の土台があるから、頼もしいのも当たり前と言えればそうですが、さすがは 3 年生といったところでしょうか。～中略～ また、「担任誰なんやろ」と、春休みはずっとそわそわしていたと思いますが、新担任（新着任の先生も含め）を迎え入れる雰囲気も良く、やはり頼もしく安心しました。

新着任の先生もおられたので、改めて 1 組担任から順に自己紹介をしました。学年団の雰囲気も良く、笑いあいのほっこりする自己紹介となりました。

主任挨拶としては、校舎トイレのスリッパの話をしました。春休みからグラウンドのトイレが使えなくなり、部活動中は校舎のトイレを使用することになり、それからいつもスリッパがバラバラになっていたという話でした。日々鍛錬しているのは何のためでしょうか。応援される人になれているのでしょうか。駐輪場もそうですが、きれいに並べるという所作はいつも大切です。人に見えない部分だからこそ大切にしてください。校訓の「克己（我に打ち克つ不撓の意志）」の話は、2 年間言い続けたことです。自分のことしか考えない人には受験は乗り越えられません。進路実現とは、いわゆる自己実現です。なりたい自分になるということです。何のために受験に挑むか。もちろん自分のためでもあります。自分だけのためではありません。挑戦いく過程で、きっと自己と向き合う大切さを知ることになるでしょう。そして謙虚さや感謝の気持ちなどを学び、心身ともに、そして法律的にも大人になるための最後の 1 歩を踏み出します。そんな皆さんの成長を、1 年間サポートしていきたいと思います。45 回生のモットーは今年度もブレず、「良いことは継続。あかんことは修正。」です。全員でやりきりましょう!!

【生活面＆遠足について】

私は担任として、進路のことなどクラスの生徒にいっぱい時間をかけてあげたい。いわゆる指導のようなことで時間を割くのはもったいないから極力したくない。だから、人の時間を大切にしよう。時間に余裕を持つことは大切です。例えば、待ち合わせの場面ですが、「余裕をもって待ち合わせ場所に行く」＝「時間の余裕という花束をプレゼントする」という解釈をすることができます。逆にギリギリで来る人や遅れてくる人は時間にケチだなと思います。皆さんとは花束を贈り合うような素敵な関係でいたいです。

遠足の行先は、なんと USJ。例年なら、2 年生で東山、3 年生では嵐山でしたが、USJ になった流れを少し。伊丹西高校の文化祭は、ここ数年で大きくグレードアップしてきました。模擬店の本格化、一般公開の拡大など、その中で一番の大目玉は、やはり舞台発表です。質の高い舞台発表をさせたい。きっと伊丹西高生はもつとできるはず!!そんな流れがある中、45 回生は、1・2 年生どちらも芸術鑑賞会に行きました。自分たちだけが「楽しむ」だけでなく、「楽しませる」という目標を達成するために、この経験を生かしてほしい。USJ は歴史的な建造物ではありませんが、あらゆるところに「楽しませる」ための仕掛けがあり、エンターテインメントが盛り沢山です。そういった意味では文化的なアミューズメントパークと言えるでしょう。ぜひ、遠足では「楽しむ」のはもちろん、人々を「楽しませる」という部分を学んでほしいと思います。

【進路関係】

受験は全員で協力しないと乗り切れません。そのために「当たり前のことを全員がちゃんとする」ことを心掛けて下さい。現在、ほとんどの大学、専門学校がオンライン出願で、今年から共通テストも全面オンライン出願に変更になります。つまり自分で、出願手続きをしないとダメです。さらに勉強や面接などに力を注ぐべき時に誰か一人でもいい加減なことをしていると、その妨げになってしまいます。そういうことが無いように全員が「当たり前の事」をきちんとして下さい。「指示を聞く」「報告や連絡をする」「期日を守る」この 3 つを「ちゃんと」してください。これらのことを入試の時だけ「ちゃんと」とするのは無理です。日頃から「ちゃんと」しましょう。先生方、保護者の方々を含む 45 回生全員がチームになることで、皆さんの力を一番発揮することが出来ます。修学旅行ではそういう場面をたくさん見る事が出来ました。受験でもそれができないと、あの素晴らしかった修学旅行が嘘になってしまいます。受験にフライングはありません。毎日の積み重ねが最後に勝つか負けるかを分けます。キャリア支援室では赤本の貸し出しが実施されます。この 1 年、全員で自分の進路実現に向けて、一緒に努力をしていきましょう。